

(第3種郵便物認可)

市長・市議ダブル選挙の統一標語

最優秀賞の高須さん(一色町)作

大切な あなたの未来 この一票

西尾市選管は3日、西尾市長選・市議選のダブル選挙に向けて市民から募集した啓発標語の選考結果を発表した。投票参加を呼びかける各種広報活動で使用する最優秀賞の統一標語に一色町の高須彩夜香さんの作品「大切なあなたの未来この一票」が選ばれた。

6月20日に行う同日選で使う啓発標語を昨年11月1日から12月22日まで募集。市民から応募のあった37点から、市選管委員と西尾市明い選挙推進協議会役員の投票による審査で、最優秀賞1点と優秀賞2点を選考した。受賞者3人には賞状と記念品を贈る。

入賞した作品は次のとおり。

【最優秀賞】ダブル選挙で使用する統一標語

「大切な あなたの未来 この一票」(高須彩夜香さん/一色町)

【優秀賞】

「西尾市の 未来を決める その一票」(村林菜耶さん/熊味町)

「投票で 未来をえがく 第一歩」(中村美華さん/永吉4丁目)

市民啓発活動などで活用

春告げる甲高い声



記者席

〇…寒風が吹きすさぶものの日ざしが強くなった4日朝、またまたアガラスを開けたところ、甲高い独特の鳴き声を耳にしました。車からすぐに降りて確認。久しぶりに晴れ渡った青空を見上げました。声のする方向に耳を澄ましなが、目を細めれば「!」。前日の立春(3日)が分かっていた



〇…漢字表記は雲雀。まさしく雲が広がる中を高く舞うスズメです。ヘリコプターのように空中で静止しながら、美しいさえずりで待ちわびた春を

つゆ知らず

かのように、春を告げるヒバリが早くも登場していました。

喜んでるのかのように見えます。ただ、広辞苑によれば、その少しうるさくも聞こえることから、その鳴き声は「一升貸して二斗取る、利取る、利取る」。まるで悪徳高利貸し業者のセリフですが、ヒバリたちはそんなこともつゆ知らず、元気に鳴いています。

市立図書館の会計年度任用職員を募集

西尾市では市立図書館の会計年度任用職員を募集する。

7時間(休憩1時間) 賃金は時給1017円。通勤費、期末手当支給。選考方法は書類審査と面接。面接日は2月20日。申し込みは2月6日から。申し込みは2月6日から。申し込みは2月6日から。

勤務内容は図書館カウンター業務などで、定員は1人。対象は司書資格を有する、または取得見込み者。採用予定日は4月1日。勤務日時は週五日(祝日を除く)、午前8時30分から午後7時15分のうち、一日

7例目の陽性を確認した。状況は次のとおり。 20代男性11軽症 60代男性11中等症 30代男性11軽症

コロナ陽性3人

愛知県が3日に発表した県内の新型コロナウイルス感染症状況によると、西尾市で3人市内365-36

心身障害者タクシーチケットの交付

西尾市では障害者があり公共交通機関を利用することの困難な人に「心身障害者タクシーチケット」を交付している。

対象は①身体障害者手帳の1級から3級②療育手帳のA判定またはB判定③精神障害者保健福祉手帳の1級または2級、のいずれかに該当し、自動車税種別割・軽自動車税種別割の減免措置を受けていない人。交付時期は申請した月から交付。1カ月あたり4枚を交付。週2回以上定期的に通院している人は、通院

報告書の提示で1カ月当たり4枚を追加交付。チケットは市と契約しているタクシー会社のみ使用可。1枚の助成額は最大500円。1回の乗車につき4枚まで使用できるが釣り銭は出ない。令和3年度分の申請受付は3月1日から、該当する障害者手帳を福祉課または各支所へ。チケットは後日発送される。通院報告書も各所に用意。3月17日までの申請分は3月26日に発送。3月18日以降は申請日の約10日後に発送。問い合わせは福祉課65-2113。

三河一色鰻御三家の味「おうちで」

シャオで弁当販売 7日まで



三河一色鰻御三家の「うなぎ割烹みかわ三水亭」が、4日、一色うなぎのブランド「うなぎの兼光」によるテイクアウト企画「オリジナルうなぎ弁当販売」が、4日から下町のおしるタウン・シャオ1階ウェルカムホールで始まった。7日まで。三河一色産うなぎの養殖から加工、販売、提供まで

を一貫して行う3店が昨年10月、一色うなぎのブランド認知向上で三河一色鰻御三家としてタッグを組んだ。吉良温泉観光組合加盟店への宿泊キャンペーン(3月31日まで)の協力や、3店で利用できる商品券3000円を15人にプレゼントするインスタグラム投稿同

行っている。おいしい一色産うなぎをコロナ禍でも味わってもらうため、今回はテイクアウト企画として3店それぞれオリジナル弁当を一個1500円(税込)で販売。三河一色鰻御三家プロジェクト(事務局・プリ・テック)は「おうちで名店の味を味わってください」と案内している。

建設廃材中間処分場

愛知県知事許可 第02320115594号

三河リサイクルセンター 株式会社

コンクリート廃材・アスファルト廃材受入れ・再生販売

本社 西尾市吉良町宮迫上69番地1

TEL<0563>35-3000

工場 西尾市吉良町宮迫漆畑2-9

TEL<0563>35-2400

フォークリフト・ショベルローダー
小型省力機械 販売・修理

株式会社 三河リフト

労働基準局長 認定
(特定自主検査 登録検査業者)西尾市楠村町寺前21 59-6907(代)
FAX 59-2965

鰻御三家「味わつて」

7日まで シャオで弁当販売



西尾市下町の「おしろタウンシャオ」で4日から、同市一色町にある「三河一色鰻御三家」の「うなぎ割烹みかわ三水亭」「うなぎの兼光」「うなぎ処いっしき」3店によるオリジナルうなぎ弁当の販売が始まった。7日まで行われる。

3店それぞれのウナギを使った弁当を販売し、味を比べ、べつべつという「三河一色鰻御三家」や「二色産うなぎ」の知名度向上を図ると共に、各店への来客増加を促そうと、同市緑町の総合印刷業「ブリック」が企画した。

シャオ1階のウエルカムホールを会場に、一食1,500円で販売された。4日は午前10時から10時の開店から10分で売り切れる人気ぶりとなった。

3月末まで、3店いずれかで撮影した料理や店、食事風景の写真を、インスタグラムに「鰻御三家」を付けて投稿すると、計15人に商品券3,000円分がプレゼントされるイベントを行っている。

齋藤会長を再選

西尾ゴルフ協会



齋藤会長

西尾ゴルフ協会は、このほど、令和3年度の役員や行事計画を発表した。役員は、齋藤会長を再選。また、西尾市合併10周年記念市民ゴルフ大会を4月3日に吉良カントリークラブで、第58回市民ゴルフ大会を6月12日に西尾ゴルフクラブ、第59回市民ゴルフ大会を11月20日に同クラブで開催することを決めた。

役員は次の皆さん。

▽会長 齋藤肇▽副会長 山本一義、村井誠一、杉浦博博▽理事 神原俊、柵木俊明、鈴木久夫

新型コロナウイルス 市内感染者

愛知県が3日に発表した西尾市内の新型コロナウイルスの感染者は次の通り。市内の総数は367人となった。

症状などは次の通り。

▽20代男性11軽症。

▽60代男性11中等症。

▽30代男性11軽症。

「毎週木曜日はスペシャルセルフデー」
ナビ付5人乗用カートセルフ↓6,960円(税込)

2月の日程: 18日、25日(各木曜日)
3月の日程: 4日、11日、18日、25日(各木曜日)
4月の日程: 1日、8日、15日、22日(各木曜日)

西尾ゴルフクラブ ☎(0563)721211

※お値打ちプライスを貴方へ、ご予約をお待ち申し上げます!

ハイクオリティ&パーフェクト
都市の生活と景観を支える企業です。

塗料
塗装
調色



株式会社ヤパック

愛知県西尾市永吉町175-3
TEL0563-56-1177(代)
FAX0563-57-5164

SPC申入書全文

PFI見直し問題

私もエリアプラン西尾は、西尾市がすすめる「西尾市方式PFI事業」を遂行するために地元企業を中心に設立した特別目的会社です。

2016年6月には西尾市議会の議決を経た上で、西尾市とPFIを進める契約を締結し、これまで地元経済の発展のために行政と一緒に活動して参りました。

この契約締結後の2017年6月に西尾市長選挙で当選した中村市長が、見直し方針を発表し、突如として事業の中止や業務の要求水準の変更、協議の一方的打ち切りや調停の申し立てなど弊社に不利益な内容から逸脱していると考えられることが多々ございました。

現在に至るまで西尾市に対しては一つ一つ誠実に対応して参りましたが、これは、弊社が「西尾市の将来にわたる税負担の軽減」や「市民サービスの向上」という本PFI事業の目的に賛同していた故であり、弊社も契約により市政の重責を担うこととなった以上、事業を滞らせて市民の皆様にご迷惑をおかけすることには断固として反対しております。

地元企業を中心として用意した1億円の資本金等に対し、累積赤字額は昨年度末までに1億4,600万円に達しており、今年度も更なる赤字の積み増しが予想されているところです。

そのような状況下、昨年4月から協議を続けてきた「西尾市と民間交流センター(仮称)支所棟」の生涯学習機能部分の運営業務について、西尾市は、弊社との合意もなく一方的に業務を取り上げ、4月1日から西尾市が直営で運営すると発表しました。

本件についても、弊社からの「正式な議会手続が必要」との声を無視し、「契約変更が必要である」との申し出も拒み、何重にも重ねた協議において弊社から問題提起した疑問には答えられないまま、あたかも弊社が誠実に協議に応じないことを理由とするような内容を一方的に発表するものでした。

このように中村市長は、弊社からの意見に真摯に耳を傾けないどころか「行政と民間の対等なパートナーシップ」を忘れたまま、住民監査請求を受け、住民監査委員からの言葉に耳を傾けないばかりに、事業の見直しに対する閣内府の見解さえも一般論であり考慮する必要はないとしています。

これは中村市長も市長の政策を実行する市議員までもが、対等なパートナーシップの精神を忘れ、本来契約者として果たすべき協力義務をなげき、優越的地位の濫用を日常的に繰り返すようになっていると、その結果が「B&Gプール」など、国家賠償法訴訟など、わずかに3年半の間に数多くの訴訟を抱える事態に陥ったのではないかと憂慮しているところです。

このままでは市が一方的に中村市長や市の職員に都合の良い発表を繰り返すことばかりで、弊社にもあらぬ風評被害を受けたりしますが、それよりも市民の皆様や、議員の皆様の間でも進まない本PFI事業への不信感がまん延し、将来の西尾市の姿に疑問が呈されていると感じ、弊社としても大変残念に思っているところです。

そこで、弊社としても本PFI事業についてのこれまでの詳細な経緯、市と弊社の交渉内容、本契約の解釈、損害賠償請求を含めた訴訟等について、弊社のスタンス等々を、来年度予算が審議される令和3年3月議会中に、何かしら場を設けて頂けましたら幸いです。

中村市長就任から3年半の間、市議会議員の皆様はもちろん、市民の皆様にも直接説明する機会を設けることができて、忝に(じくじ)と思っておりますが、西尾市政の重要な節目を迎えるにあたり、弊社としても上述の通り市民の皆様にも本PFI事業について説明させて頂きたいという思いが強く、今回大変急なお話ではございますが、お願い申し上げます。